

○全国都市緑化仙台フェアに記

ごみ指定袋販売の導入を 向け、レジ袋に代えて家庭

しんや

### 質問を一般質問といいます。 人の議員が行った一般質問 主な質問と答弁の要旨 等を掲載しています。

#### 自 猪又 曲 民 隆広 主 党 議員

滑な開錠が可能な手法を探る 市の取り組みを比較分析し、円 た自動開錠の仕組みが必要では ○燃料価格高騰に直面するト ○地域の声が反映された今泉 ラック運送事業者への支援 清掃工場の今後の在り方検討 さまざまな手法や他都 避難所に地震に連動し パーティーチャーの活用 千葉 修平 議員

め、安全・安心の確保に努める 者不在問題への対応を伺う。 山地区等の大規模擁壁の管理 ○切土・盛土図の適切な理解 のような関与が可能か検討を進 ○原料価格高騰下のガス事業 ○国へ電気の安定供給要望を ○節電協力と本市経済への影響 太白区松が丘地区・青 国で法整備が進むが、ど

○若者への支援には奨学金だ ○交流人口拡大に向け、 ○伊達政宗公騎馬像の黄金化 ○プラスチックごみの減量に ○伊達政宗公騎馬像の定期健診 ○音楽ホールに付随する日本 の整備を基本に検討を進める 音響性能を有する多機能ホール けでなく給付金も支給すべき が誇れる場として、アイスリ で唯一の音響研究所の設置を ンク仙台のギャラリー拡充を 「音響」にこだわり、ヴィ 専用ホールに匹敵する -ド型ホールの整備を。 音楽ホールは国内トッ 橋本 啓一 髙橋 卓誠 議員 市民

らなる利用促進に取り組む。 用と市民の需要喚起を促すべき。 仙台産米の米粉の積極的な活 憶に残るアクティビティーを 事業者等と連携し、さ 食料自給率向上に向け 西澤 啓文 議員

○のびすく宮城野の単独館化 ○児童の安全確保のため児童館 ○DMO設立に関する進捗状況 進め、仙台への誘客促進を図る ○スケアード・ストレイト活用 ○大学との連携の仕組みづくり ○必要時はためらいなく救急 ○交通指導隊へのアンケート 市間競争に対する市長の所見を 調査結果にできる限り対応を 車を利用するよう市民広報を 本館は学校近くに設置すべき コロナ後の誘客に向け都 予算措置等の取り組みを 渡辺 博 議員

○利用しやすい例規集へ見直し 市民フォーラム仙台

けんじ 議員

学の研究への着目により実現を ○eスポーツを活用して共生社 の研究成果等を参考に取り組む。 の情報収集を進め、先端技術 はさらなるデータ分析や東北大 ○長町小学校の投票所の混雑解 消と妊婦や高齢者への配慮を 会の実現と地域経済活性化を 郷古 正太郎 議員 特定健診後のサポート 先進事例等の分析手法

経済的な困難を抱える

○サービス管理責任者不足解消 けるよう全力を挙げて取り組む。 若者が挑戦できる環境を構築 非常に重要。さらに注力すべき ○障がい者の就労と福祉施設で つくりは都市経営の視点から しつつ、経済成長を図ってい 第 多くの起業家が生まれ 働く方のさらなる環境整備を 起業家が活躍する都市 塩分と野菜摂取のバランスを 表す指標「尿ナトカリ比」を

ケ ○粗大ごみ回収にオンライン ○外国人児童生徒について、 けて、手法などを検討する。 ○青葉通仙台駅前エリアの広 安心に向けて取り組んでいく 広瀬川の保全と市民生活の安全 将来的な対応策を検討すべき。 瀬川自然崖地の崩壊に対し、 ○夜間中学を不登校特例校に ○帯状疱疹ワクチンの助成実施 に向けた実態調査を。 ○肥料等、農業関連資材の価 格高騰に対する支援の必要性 決済を導入すべき 入学前に必要な支援の把握を 場化に向けた社会実験 佐藤 わか子 議員 ひきこもり支援の拡充 県と連携するなどして 向山地区等における広 新たな調査の実施に向

# 睍 党

竹中 栄雄 議員

盆

を設置し、管理運営すべき。 をしている。施設の整備は必要 と津波避難道路の新設・拡充を 理中であり設置の検討を進める 性や財源等を見極め判断したい ○卸町市営住宅全体の調査を 設置条件や管理課題等整 避難の計画等の見直し 市営住宅に防犯カメラ 佐藤 幸雄 議員

自由民主党

公明党仙台市議団 せんだい自民党 日本共産党仙台市議団 社民フォーラム市議団(5) 市民と未来のために

(9)(7)(6)

0000000

000000

0

0

市民フォーラム仙台

○老人憩の家の今後の方針 を行い、連携を深めていく。 ニューについて意見交換すべき フォー・チルドレンと支援メ 子どもの支援団体チャンス・ ○実態を踏まえた就職氷河期世 っている民間団体と意見交換 代の正規雇用就労支援の推進 きめ細やかな支援を行 高血圧の予防対策として 佐藤 和子 議員

せんだい自民党

津波避難方法の再検討

○「仙台・山形」の連携を強化 ○利用率が低い仙台スタジア し、ブランド化で全国発信 佐藤 正昭

]内は議案番号

特別会計

の他議案

出議案

〇:議案に対して賛成

おわびして訂正いたします 訂正前:井戸地区

般会計(第3号)[79]、

介護保険事業(第1号)[93]

[87]、病院事業使用料及び手数料条例[88]

市道路線の認定及び廃止に関する件[89]

支援等に関する法律の改正を求める件

資産等公開審査会の委員の委嘱に関する件[91]

専決処分事項に関する件[90]

会派別議

○ハイリー・センシティブ・チ 題がある。多角的な視点から ○児遊の杜での個別支援拡充を ボートにふさわしい名称変更を 予防の取り組みを推進する。 ○起立性調節障害児童生徒への ○熊出没情報発信にL−NEを ○町内会各種申請の電子化を ○特定外来生物オオキンケイ 小田島 久美子 議員 ャイルドへの理解と研修を 理解と不登校情報誌への掲載 ギクの周知強化と駆除対策 名称の変更を検討する。 適応指導教室は学びのサ 測定機材の確保等の課

○オーガニックビレッジ宣言 制に向け、協力を要請していく。 バスの増便や代替輸送、道路 工事抑制の協力を要請すべき。 ○ネオニコチノイド系農薬の ○管理栄養士の役割と待遇 ○民生委員の処遇改善を 本市での検出状況 代替輸送の実施と工事抑 災害時の渋滞対策として 村岡 貴子 議員

採

決

結

可決

可決

承認

同意

可決

○本市の輝きは周辺市町村との ○国民皆歯科健診の市長の認識 ○富谷市への地下鉄南北線延伸 ○公立中学校運動部活動の地域 期の計画策定を目指し取り組む 市民からの意見を踏まえ、 画のスケジュールを伺う。 マンション管理適正化推進計 係を構築し魅力向上を図れ。 圏のリーダーとして、信頼関 連携あってこそ。市長は仙台 移行における課題への対応 策定作業を進めている 関係団体等と連携し、 佐々木 心 早

派 名

(第4号)[92]

員退職手当条例[80]、工場立地法に基づく準則を定める条

施行規程等[82]、手数料条例[83]、地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例[84]、建築基準法の施行に関する条例[85]、消防団員等公務災害補償条例[86]、市議会議員

及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

意見書第4号 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する

訂正後:井土地区

市議会だより第196号1面に掲載しました地区名に一部誤りがありました。

仙塩広域都市計画事業仙台市荒井土地区画整理事業

( )内は所属議員数

ジ」を特定健診等に導入すべき 測定する「ナトカリチャレン 日本

関わる児童館の事業および児童 ○児童館職員の処遇改善を

> 的な連携の在り方等を検討する。 体の状況等も踏まえつつ、効果

ナルとして捉え、減免制度の 窮者の適切な支援につなげる 支える収納業務に取り組むべき。 活用と拡充等、市民の生活を ふるくぼ 和子 議員 収納の場面でも生活困 滞納を生活困窮のシグ 引き続き関係部署間の

実するための方策を検討する の高まりによる課題は認識して ○保護者負担金減免対象の拡大 ○児童クラブ大規模・過密解消 おり、今後は各児童館事業を充 クラブ事業の充実を図るべき 児童クラブ事業の比重

○事故発生時賠償対策等が不十

分な東北

電力女川原発に関し、

)教育委員会任せではないい

言は不適切ではないか

じめ事案解決の制度の構築

脱原発株主の会提案に賛成を

○原発処理

水の海洋放出問題 ア児の通学支援

○医療的ケ

小1いじめ事案において、 声を直接聞かなかったのか。

被害を疑うような校長の発

なぜ学校は被害生徒本人の

○東部復興道路の渋滞緩和策・ 信号機設置を県等と協議せよ ムの利用促進の取り組みを

○市営住宅家賃減免の周知拡大

社民フォーラム

円滑な連携

に努める。

○就学援助

申請書の全員配付を

## 共 産

いのまり

*T*=

由美

議員

特定

すげの 子どもの育ちに大きく 直子 議員

> **炫** 支援 援まで一体

に当たっている団 的に行う事業を。 妊婦の相談から支

携し、計画 ○診療報酬が しないよう 人件費や 学校 

修や建て替えの年次計画作成を。 **ダ**日 特定の年度に工事が集中 改定では本体部分の 設備関係に充当を 関係部局間で連

の略称の表記を 紙面の都合により、 **新型コロナウイルス感染症」** 本文中は

「新型コロナ」

令和4年第3回定例会は、 としています。

月 開会の予定です。

# 9月5日

○管理不全な空き家を解消し、 DX政策と持続可能な農業 土地の有効な利活用を 民と未来のために 伊藤 ゆうた 議員

 $\bigcirc$ 市 暴言事案の再調査を。また、 等の市立中学校教諭による 「人間の足の動きではない」